

災害復旧・救援のためのボランティアの活用について

金沢大学工学部 学生員○尾崎 孝、金沢大学工学部 正会員 北浦 勝、
金沢工業大学 正会員 鈴木 有、金沢大学工学部 正会員 宮島昌克、
金沢大学工学部 正会員 池本敏和

1. はじめに

1989年にサンフランシスコを襲ったロマ・プリエタ地震では、震災直後から消火活動を手助けしたり、建物の安全性のチェックに従事するボランティアの活躍などで、復旧・救援活動が大いにはかどった。また、1990年11月に噴火して以来、1年以上にわたって活発な活動を続けている雲仙普賢岳の噴火災害においても、多くのボランティアの活躍がマスコミに取り上げられている。災害時には広範囲で同時多発的に各種の被害が発生することが多いので、その全ての場合に備えた対応を考え、準備しておくことは実際上不可能である。したがって、ボランティアの活躍に負うところが多くなると考えられる。

この様な観点から本研究では、ロマ・プリエタ地震におけるボランティア活動と、現地調査によって得られた雲仙普賢岳の噴火災害におけるボランティア活動に関する資料を比較検討することによって、今後の効果的なボランティア活動のあり方について考究する。

2. ロマ・プリエタ地震におけるボランティア活動

表1は、ロマ・プリエタ地震の際に行われた主なボランティア活動をまとめたものである¹⁾²⁾。災害直後の混沌とした状況下では、各ボランティア団体間の連絡、調整機能や、一般市民からのボランティアの受付窓口機能が、ボランティア活動を効率よく行うためには重要となるが、ロマ・プリエタ地震においては、アメリカ赤十字社がこの機能を果たしている。また、日頃から訓練や講習を受けてきた登録ボランティアが中心となって、一般作業の指導や専門作業に従事している点や、一般市民のボランティア活動が、警察や消防士、救助隊との連携によってなされている点が特徴的であるといえる。

3. 雲仙普賢岳噴火災害におけるボランティア活動

雲仙普賢岳噴火災害においては、雲仙岳災害ボランティア協議会が一般市民からのボランティアの受付窓口となるとともに、各ボランティア団体間の連絡、調整機能を果たした。この協議会は、島原半島の町興し団体の代表からなる十七会というグループが中心となり組織されたもので、ボランティアに関しては全くの素人の集まりである。この協議会には、ボランティア団体として40の団体が登録されており、その内訳は図1に示すようである。この中で、各種団体とは、日頃からボランティア活動を含めた社会活動を組織的に行っているグループであり、例えば、日本赤十字社長崎県支部やローターアクト、青年団、青年会議所などである。また、地元文化グループとは、地元の太鼓保存会とか、歴史を探究の会などである。したがって、各種団体と宗教団体は、日頃からボランティア活動のある程度組織的に行っているグループと見なすこともできる。しかし、日頃から訓練や講習を受けてきたボランティアの活躍は多くはなかったようである。一方、今回行われたボランティア活動の内容を一般作業と専門作業に分類すると表2のようになる。ボランティアに関する日頃の訓練や講習を受けている人の活躍はあまり見られなかったものの、専門技術を持った人による専門作業は少なからず見られた。

4. おわりに

わが国においては、募金活動の習慣により、災害時にも義援金や救援物資に注意が向かいがちになり、奉仕活動の経験が少ないようである。雲仙普賢岳の噴火災害においても、これまでに奉仕活動をしたことのない人たちがボランティア活動に取り組んだ例が多く見られた。したがって、このような初めてボランティア活動を行う人たちが戸惑うことなく、しかも効率よく作業に取り組むことのできる強力な窓口、連絡、調整機能が、災害時には重要であることがわかった。今後は、過去の災害におけるボランティア活動の経験を蓄

積し、つぎの災害に有効に利用できるデータベースの構築と、その活用システムの開発に取り組んでいく予定である。

参考文献

- 1) 財団法人 地震予知総合研究振興会：1989年ロマ・プリエタ地震被害調査報告書，pp. 225-227，1991.
- 2) 国土庁防災局，自治省消防庁：災害時におけるボランティアの活用方策に関する調査，災害ボランティア研究会報告書，1991.

表1 ロマ・プリエタ地震における主なボランティア活動

	団 体 名	活 動 内 容
社会福祉を目的とした団体	アメリカ赤十字社	災害援助センターの設置 看護活動 建物の被災程度の調査
	救世軍	避難所の設置 避難所での食事の世話
公共団体、民営技術者団体	カルフォルニア建設協会 (AGC)	復旧活動に使用可能な建設機械のリスト作成 復旧計画の立案
	カルフォルニア構造技術者協会	建物の被災程度の調査
	PG&E	飲食物の配布 仮設トイレの設置
一般市民		避難所での避難民への世話 崩壊した高速道路での救出活動 マリナーナ地区での消火活動 交差点での交通整理

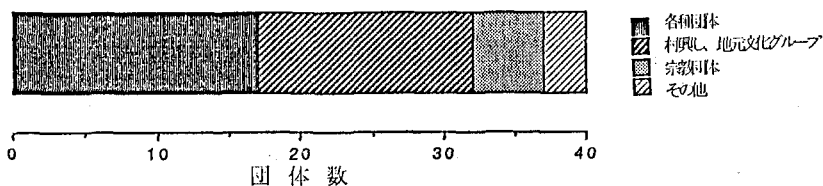


図1 雲仙岳災害ボランティア協議会の登録ボランティア団体の内訳

表2 雲仙普賢岳噴火災害におけるボランティア活動の内容

	内 容
一般作業	救援物資の仕分け作業、避難民の住宅捜し 機械によるマッサージ、イベントの企画、実施 炊出し（おにぎり、うどん、そうめん）、清掃
専門作業	土石流、火砕流の警戒、監視、健康診断、健康相談 アマチュア無線ネットワーク、マッサージ、家庭教師